

ここが聞きたい 一般質問



19年度からスタートした放課後子ども教室（江刺区）

区の実状に合せ開設していただく。(3)学童保育所と一体的な事業を展開する。(4)地域子ども教室で主眼だった「交流」「体験」に「学び」の要素を加え充実を図って参りたい。(5)市内における児童クラブ、子ども教室の実態調査と奥州市版「放課後子どもプラン」の作成については！平成20年度2ヶ所の子ども教室開設の計画もあり、ほぼ市内全小学校区に設置が整ってくる。先輩施設の現状の課題や問題点も探りながら、子ども達の健全育成、安全安心な居場所の確保にむけて、その実態調査を行いそれに基づいた内容の充実感のある奥州市版「放課後子どもプラン」の年度内の作成を急ぐ。(6)新たな児童館、児童センターの設置につ

いては、現在希望地区はないが、希望があれば現在設置されていないところを中心に検討が必要と思う。計画の検討はゼロからスタートである。

平泉文化世界遺産の観光 取り組みを官民一体で



あべ こうぞう
安部 皓三
議員

質問 合併した奥州市の地域活性化策の大きな視点の一つには、

平泉文化遺産登録に伴う今後の市の早急な対応にあると考えます。

「地域の特性と資源を生かした魅力ある観光ルートの開発、観光客誘致事業」等に力点を置いた各種団体との連携対策が必要だと思います。その進捗状況を伺います。

市長 本年度策定する観光振興

基本構想は特産品を生かした観光施策や二次交通を活用した新たなルートを検討します。むしろ多様な観光ルートは歴史的にも奥州市側にあるとも思われます。

また、行政のみならず民間業者、観光協会など多様な参画による施策を期待し、登録を起爆剤に広域観光への取り組みを推進し、組織



埋蔵文化財調査センター（水沢区）
（提供：奥州市埋蔵文化財調査センター）

づくりも進めていきます。

質問 水沢病院の現況と高度な医療機器（MRI）等の更新について伺います。

6月1日時点で16人、しかし今月末1人が開業のため退職すること

市長 病院の現況は常勤医師は

で15人となります。常勤医師数がピークだった平成12年度の26人と比較すると患者数で30・6%の減、稼働額で36・3%減と落ち込んでおり、厳しい現況です。概ね医師数の減少と患者数、稼働額が比例して減少しています。

医師不足からくる疲労感、不安感がありますが、東北大、岩手医大やその他の大学、フリーの医師を含めなんとしても医師確保が最

重要課題です。

MRI等の高度医療機器購入についても優先度を考慮し進めます。

○農地・水・環境保全向上対策について
○学校給食への地元農産物の利用拡大について



ちば まさふみ
千葉 正文
議員

質問 19年度からスタートする

『農地・水・環境保全向上対策』の十九年度の予算規模と市の財政への影響について伺います。

市長 予算規模は3億4750

万円であり、4分の1が市負担であり、さらに地方交付税措置が



水路管理のために土留めの丸太を設置（水沢区）